

情報通信分野における政策課題の共有・議論と未来を展望する会議



GLOCOM  
六本木会議

年次総会2019

@国際文化会館

基調講演：

『揺れ動く国際秩序

- 米国・中国・欧州・日本関係のダイナミズムを考える』

慶應義塾大学総合政策学部 准教授 鶴岡 路人



活動報告：

『サイバーセキュリティにおける  
ナショナルセキュリティの検討』

主査：内田 勝也 (情報セキュリティ大学院大学)

『教育情報化のブレイクスルー』

主査：豊福 晋平 (国際大学 GLOCOM)

『データ社会における競争力研究会』

主査：田中 辰雄 (慶應義塾大学 / 国際大学 GLOCOM)

2019.4.17 (水)

総会プログラム 17:30 ~ 19:30

懇親パーティー 19:30 ~ 21:00

公益財団法人 国際文化会館

岩崎小彌太記念ホール

東京都港区六本木5-11-16

参加申し込み方法の詳細は裏面をご覧ください



GLOCOM  
六本木会議

## スケジュール

- 17:00 開場
- 17:30 開会ご挨拶（GLOCOM 六本木会議 企画委員 前川 徹）
- 17:40 活動報告①『サイバーセキュリティにおけるナショナルセキュリティの検討』（主査：内田勝也）  
活動報告②『教育情報化のブレイクスルー』（主査：豊福 晋平）  
活動報告③『データ社会における競争力研究会』（主査：田中 辰雄）
- 18:30 基調講演『揺れ動く国際秩序—米国・中国・欧州・日本関係のダイナミズムを考える』
- 19:30 Q&A / ディスカッション
- 19:30 懇親パーティー ※立食形式となります。お飲物・お食事をご用意しております。

## 基調講演

戦後世界を支えてきたルールに基づく国際秩序が大きな挑戦を受けている。中国の台頭やロシアの復権に加え、「アメリカ・ファースト」を掲げるトランプの米国も、世界にとっての大きな波乱要素になっている。その結果、国際秩序維持における日本と欧州（EU）の役割が増大している。しかし、欧州では英国のEU離脱（Brexit）を控え、また域内でのポピュリズムの台頭も終わらず、トランプ政権との亀裂も深まっている。日本とEUとの間のEPA（経済連携協定）の発効は久しぶりのよいニュースだったが、日本が直面する課題は複雑化している。そうしたなかでは、国際秩序をめぐるダイナミズムを立体的に捉えることが今まで以上に求められる。日米や日中、日欧に個別に対処したのでは気づかないものが増えている。例えば、米欧対立や米中対立は欧州と中国の関係などをどのように規定し、日本にいかなる影響を及ぼすのか、

米国のNATO（北大西洋条約機構）軽視姿勢は日米同盟にとって他人事ですむのか。そのうえで、日本はどこに向かおうとするのか。分析力、洞察力に加えて、構想力が問われている。



鶴岡 路人（つるおか みちと）

慶應義塾大学総合政策学部 准教授

慶應義塾大学法学部卒業後、同大学大学院を経て米ジョージタウン大学大学院留学。英ロンドン大学キングス・カレッジで博士号取得。在ベルギー日本大使館専門調査員（NATO 担当）を経て、2009年から2017年まで防衛省防衛研究所。その間、防衛省防衛政策局国際政策課部員、英王立防衛安全保障研究所（RUSI）訪問研究員などを務める。2017年4月から現職。東京財団政策研究所研究員を兼務。専門は国際安全保障、現代欧州政治など。

## 参加対象者とお申し込み方法

ご招待先一覧

- ・ GLOCOM 六本木会議 定例会・分科会参加メンバー
- ・ 総務省、経済産業省等の情報通信政策の担当者
- ・ 総務省 地域情報化アドバイザー
- ・ GLOCOM 専任・併任研究員、客員研究員、フェロー
- ・ GLOCOM ERP 会員企業担当者

本イベントは原則、招待制とさせていただきます。

- ◎ ご招待者の皆様には、別途お申し込みフォームのURLが記載されたeメールを送付しますので、各自お申込みください。
- ◎ ご招待メールを受信されていない方で、ご参加希望の場合には、下記の問い合わせ先にメールまたはお電話ください。

GLOCOM 六本木会議 事務局

（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター内）

〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル 2 階

問い合わせ先：

✉ メールで [app@glocom.ac.jp](mailto:app@glocom.ac.jp)

☎ お電話で **03-5411-6675**（担当：小島・小林）